

「国際情報検索」概要

担当教員：中澤 港 <minato-nakazawa@people.kobe-u.ac.jp>

サポートサイト：<http://minato.sip21c.org/iis/>

授業のテーマと到達目標

国際保健分野では英語による情報検索とその読解，分析がきわめて重要である。

本講義では，実際の国際保健分野における問題を各自選んで系統的に文献検索を行い，レビュー論文を書くことを目的とする。そのため，WHOやFAOなどの国際機関のレポートやニュースリリース，学術雑誌掲載論文などの情報源から適切な情報を得る方法，その情報をまとめる方法などについて説明する。まとめたレビュー論文を参加者間で討論することで理解を深める。

授業の概要と計画

(1) 国際的な情報検索の方法論 (2019年4月9日)

(1-1) 情報検索の留意点

- * Twitterやネットメディアは，本人のアカウントであるという確認が取れている書き手による自分自身のことについての一次情報でない限り，たんなる速報とみるべきで，情報が歪められていないか，拡大解釈されていないか，必ず情報源を確認する（裏を取る）。意図的なフェイクニュース作者は誤訳を装った捏造も厭わない。テレビや新聞などのマスメディアの記事・報道も，情報源情報を切り貼りする過程で意味が変わっていることは珍しくないので，サイエンスの話なら原著論文を探して読み，論理的不整合や飛躍がないかチェックする。原著論文ではDiscussionの部分でspeculationとしてimplyとかsuggestされているだけの内容を「わかった」と書くメディアは珍しくない。最低限，その知見を発表した組織・機関が出しているニュースリリースには目を通す必要があるが，原著論文ではsuggestなのにニュースリリースでは「明らかにした」となっている場合もあるので要注意。
- * Googleなどの検索エンジンやWikipediaは便利だが，ヒットしたものをそのまま信じてはいけない。web上の情報は玉石混淆なので情報が信用に足るかどうか吟味が必要。
- * なるべく一次情報を探す。国際保健領域では，WHOなどの国際機関の公式情報，CDCやNIH，日本でいえば国立感染症研究所，国立国際医療センター，国立がんセンターなど，政府機関の情報は，ある程度信頼がおける。学術雑誌や学会の公式サイト（文献データベースを含む）もOK。途上国の情報は，日本の外務省やJICA，米国CIAの情報なども参考にはなるが，即時性がないので，必要に応じて現地の新聞社サイトなども参照する（信憑性は要チェックだが）。
- * そのサイトが本当にその組織のサイトなのかどうか，確実に見極めることは難しい。一つの方法としてはドメイン名をみること。*.intや*.org，*.govや*.go.jpなど。しかし，*.orgなど実は誰でも取れるので注意は必要。正確に記録しておけば後で確認できるので，ドメイン名は重要。
- * 複数の情報源を付き合わせて比較する（矛盾がないかチェックする）。
- * 書かれている内容が論理的におかしくないか，聞いたことがない奇妙なものでないかもチェックする。専門用語辞書（/事典）で確認する。

(1-2) 文献管理ソフトの使い方 (別途配付資料参照)

* レビュー論文を書くには, Mendeley, JabRef, Zotero など, 文献管理ソフトを使うと便利である。論文を書いたときに, さまざまな形式で引用文献として番号や著者名+発表年の形で論文本文に挿入し, 論文末尾に引用文献リスト一覧を付すことが容易になる。どれかをインストールし, 次週以降の検索で実際に使えるようにする。

(2) UNHCR, UNICEF, FAO から難民や子供の栄養・食糧問題を知る (4月16日)

(3) WHO と米国 CDC, ProMED 等から感染症流行と対策について知る (4月23日)

(4) WHO や米国 NCI 等から世界のがん対策について知る (5月7日)

(5) レビュー論文/メタアナリシスの読み書き実践演習 (5月14日)

(5-1) テーマ選定:

インフルエンザパンデミック, 先進国における風疹, 薬剤耐性結核, コレラの流行, 天然痘の撲滅, バイオテロ対策, ポリオ対策, マラリア対策, 都市の健康格差とスラムの問題など, 国際保健上, 各自が関心をもつテーマを選定する

(5-2) 古典的なテーマであれば教科書を読む必要がある。比較的新しいテーマであれば, そのテーマについての良いレビュー論文を探して読む。その論文で引用されている論文のうち重要なものは原論文における記述が適切に引用されているか確認する (最低限, PubMedなどでabstractは見る)。さらに, そのレビュー論文を引用している, その後の研究論文を検索して読む (Google Scholarでも可能)。もし既存のレビュー論文がなければ, 関連する原著論文を系統的に検索して, すべて読む。

(5-3) そのテーマについてこれまでに何が分かっているか何が分かっているかをまとめる。その過程で可能ならメタアナリシスを行う。

(5-4) レビュー論文を書く。Introductionとして, そのテーマがなぜ重要なのかという背景と, このレビューが必要な理由を簡単に書く。Methodとして使ったデータベースや検索語を含む文献検索の方法・手順を書く。メタアナリシスならば統計手法とソフトウェアも書く。Resultとしては見つかった文献を適切に集約して内容をまとめる。メタアナリシスならばフォレストプロットなどを描く。Discussionとしては, まとめからわかったことが, Introductionで示した当該テーマに対してどのような貢献をするのかを先行研究を適切に引用しながら書く (宿題=5月21日は休講, 個別相談に応じる)

(6) 各自がまとめた内容について発表し, 討論する (5月28日)

成績評価と基準

各自が書いたレビュー論文, 発表内容や他の発表者へのコメントなどから総合的に評価する。